

遠別の森から

留萌北部森林管理署 遠別・西遠別・東遠別森林事務所

北海道天塩郡遠別町北浜91番地2号

>>> 遠別町のみなさんに国有林の情報を毎月お届けします。1500部発行、全戸配布です。



2人でも抱えられないぞ～

子どもたちの手では抱えきれない木々もいっぱい。見るだけでなく、直接触って体感するのも探検の醍醐味ですね。



いっぱい見つけるぞ～

カードに書いてあるものを森の中で五感をフル活用して探しました。いくつ見つけれられたかな？



木の肌の模様って不思議

木の幹に紙を当てて、クレヨンでこすって木の肌の凸凹を写し取ると、不思議な模様が浮かび上がりました。

>>>人事異動のお知らせ<<<

転 入 (4月1日付)
遠別森林事務所 首席森林官
東遠別森林事務所 森林官事務取扱
(留萌南部署 西幌糠森林官)
安達 登

転 出 (4月1日付)
北海道森林管理局 企画調整部
保全調整課 指導広報係長
(遠別森林事務所 首席森林官)
中鍵 貴之

定年退職 (3月31日付)
(東遠別森林事務所 森林官)
松並 善司
※ () は旧官職名



冬の富士見ヶ丘公園を探検して色々な発見がありました

4年生のみんなとスノーシュー・トレッキング

快晴に恵まれた三月十三日、遠別小学校四年生の皆さんと、富士見ヶ丘公園で「冬の森林教室」を開催しました。これは理科「冬の森」の単元の一環として行われたもので、中鍵首席森林官と松並森林官がまだ雪深い森の中を案内しました。

今回は「冬の森」をより楽しんでもらおうと「スノーシュー」(西洋かんじき)を用意し、「フィールドビンゴ」(カードに書いてあるものを森の中で探すゲーム)、「森のフロッターシュー」(木の幹などの凸凹を紙に写し取って、質感や模様の違いなどを体感する遊び)、「輪尺での「測樹」」などを行いました。

初めて「スノーシュー」を履いた皆さんは、雪の上を沈まずに歩けることに「すごい！」と大喜び。見通しが良い冬の森の中を、積雪の分だけ高くなった目線で探検し、「沢山の発見をして、すごく楽しかった！」と、とても賑やかな一日になりました。

昨年十二月から遠別町北浜九一(旧遠別森林事務所跡地)で新築工事を進めていました「遠別合同森林事務所」がこのほど完成しました。

新庁舎は合法伐採が証明された木材「フェアウッド」を使った木造平屋建て、床面積約六十六平方メートル、構造材や「木質内装」の室内には北海道産の木材が使われ、木の香りあふれる建物です。

四月上旬に遠別・西遠別・東遠別の三森林事務所が新庁舎へ移転集約化され、業務を開始します。

お気軽にお立ち寄りください。

新庁舎が完成しました

～遠別合同森林事務所～



大切な森林を山火事から守りましょう！

春は空気が乾燥し、山火事の危険が高まる季節です。山火事のほとんどは人為的な要因によって起きています。しかし、これは私達一人ひとりが火の取扱いに注意することで、山火事を未然に防止できるということでもあります。かけがえのない森林を守るため、皆様のご協力をよろしくお願い致します。



遠別の森から

留萌北部森林管理署 遠別・西遠別・東遠別森林事務所

北海道天塩郡遠別町北浜91番地2号

>>> 遠別町のみなさんに国有林の情報を毎月お届けします。1,500部発行、全戸配布です。

森で見つけた 小さな宝物



フォレスター通信

今月は森林調査で山を歩いて見つけた「小さな宝物」を紹介したいと思います。



オオカメノキの冬芽

まずは、すごく小さいけど、ひととき目を引いたのがこれ。まるで小人さんが万歳しているような姿ですよ。



ツルアジサイのさく果と装飾花

天然「モビール」としてこのまま飾り物になりそうな冬のツルアジサイ。



トドマツの球果

普段何気なく見ている松ぼっくりも、ルーペで拡大してみるとこんなにアーティスティックで驚きました。

「ちょっとした発見」を大切にすることも、国有林の自然を守っていくことへの一歩じゃないかなと思います◎

旭のトドマツもっと大きくな～れ！

お互いの成長を促すために、今年も「間伐調査」を実施中です。同地区には昭和40年代にトドマツが植林された山が多く、約40年を経過した木々は混み合っており、成長した木々は倒れやすくなっています。このままでは、旭温泉奥の国有林に入り「間伐調査」を実行中です。



調査現場へ向け、雪原を走るスノーモビル

高さ、分布状況などを調べ、この森の将来像を見据えた上で、間引きする本数割合などを算出します。また、伐採区域などの標示や、伐採木を運び出す「集材路」、それらを貯めておく「土場」などの設計、調査も行います。雪深い山中で、地形、天候、雪質などに一喜一憂させられるクロスカントリーな毎日ですが、日々違った表情を

山々をわたる風が少しずつ温かくなり、近づく春を感じられる今日この頃ですが、いかがお過ごしでしょうか。さて、森林事務所では先月に引き続き、旭温泉奥の国有林に入り「間伐調査」を実行中です。同地区には昭和40年代にトドマツが植林された山が多く、約40年を経過した木々は混み合っており、成長した木々は倒れやすくなっています。このままでは、旭温泉奥の国有林に入り「間伐調査」を実行中です。

いながら成長するのが難しくなるため、「間伐」(間引き)作業が必要になります。そのため、間伐調査では、森林官らがスノーモビルやソノメルスキーで山に入り、木々の太さ、



ソノメルスキーで森の中へ

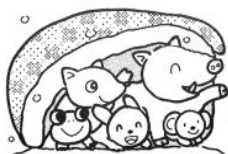


輪尺で幹の太さを測定

見せてくれる山の自然と向き合い、ときには木々を見上げ、詩人？になるひとときもあつたり、キツイながらも楽しみもある仕事です。これらが立派な森に育つためには、まだ数十年の歳月が必要ですが、そのころ私達はいったい何歳でしょうか。トドマツの太さが生い茂る深い森となる日を見みなさんも一緒に夢見てみませんか？

毎日がクロスカントリー
旭地区で間伐調査です

「木づかい」は誰にでもできるエコ活動 ～ みんなで止めよう地球温暖化！



日本では国産の木材があまり使われていません。このため、手入れが行き届かない人工林が増えています。植える、育てる、収穫する、上手に使うというリサイクルが、二酸化炭素をたっぷり吸収する元気な森をつくれます。「木づかい」とは、暮らしに国産材の製品をどんどん取り入れて森を育てるエコ活動。木を使うことから全てが始まります。みんなで止めよう地球温暖化！ www.rinya.maff.go.jp/kizukai.html

遠別の森から

留萌北部森林管理署 遠別・西遠別・東遠別森林事務所

北海道天塩郡遠別町北浜91番地2号

>>> 遠別町のみなさんに国有林の情報を毎月お届けします。1,500部発行、全戸配布です。

清川第三で 間伐作業



フォレスター通信

清川第三のヒシュクナイ川上流の国有林では現在、間伐作業が実行中です。

この地域は昭和三〇年代後半にトドマツが植林され、成長も良好。間伐によってこの森を適切な密度に管理し、さらなる成長を促します。

また、伐採木は間伐材として有効に活用されます。



チェーンソーで一本ずつ伐倒します



トラクターによる集材作業



集めた木は規格長に玉切り



積み上げられ、製材工場へ

毎日がバックカントリーな冬山仕事

すが、この季節の森林官の仕事は、そんな言葉が生まれるくらいと前から「バックカントリー」。もちろん雪山の登り降りも目的ではなく、仕事の手段です。さて、前置きが長くなりまして、現在の国有林で旭



さあ、今日のはあそこまで登って調査だ！

旭地区の造林地は、昭和四〇年代にトドマツが植栽されたもので、その後約四十年を経て成長し、林内が混み合ってきました。このままではモヤシのような森になってしまうので、これらの密度等を調査し、そこから算出された量の木々を間伐し、さらなる成長を促します。このような中で、どの木を伐り、どの木を

残すかは、この森林の将来を左右する重要な判断であり、森林官はいろいろな研修などの場を通じて、技術の向上に努めています。森林官が調査・設計を行った間伐作業が、その森林をどのように遷移させていくのか、皆さんも一緒に長い目で見守っていただければ幸いです。



森林全体をよく調査し、間伐木を選びます



伐るか残すか真剣勝負 旭地区で間伐調査



冬のレジャーとして「バックカントリー」(整備されたスキー場ではなく、自分の足で山を登り、一切、手の加わっていない雪面を滑降すること)がちよっとしたブームのようでしたが、この季節の森林官の仕事は、そんな言葉が生まれるくらいと前から「バックカントリー」。直線距離はそこ

れほどではなくとも、雪山登りは安全なルートを選びながら切り返しと迂回の連続、頭から湯気を立ち上らせて調査地に到達すると、体が冷えないうちに調査用具を取り出して早速作業開始です。

北海道森林管理局長賞を受賞 ～ 北の国・森林づくり技術交流発表会

1月24日に札幌市で開かれた「北の国・森林づくり技術交流発表会」において、当事務所のミニコミ活動「遠別の森から」が「北海道森林管理局長賞」を受賞しました。

国有林の仕事を皆さんにお伝えしようと発行を開始し間もなく2年。お陰様で街に出ると「森林を育てる色々な仕事をしているんだね」と声をかけていただけようになってきました。今回の受賞を糧に今後も創意工夫し、毎号、目を通していただけるようがんばりますので、よろしくお願いいたします。

遠別の森から

留萌北部森林管理署 遠別・西遠別・東遠別森林事務所

北海道天塩郡遠別町北浜91番地2号

>>> 遠別町のみなさんに国有林の情報を毎月お届けします。1,500部発行、全戸配布です。

フォレスター通信 ～冬山仕事～

真っ白な雪で山がすっぽり埋まるこの季節、「森林官は冬の間はどんな仕事をしているのですか?」とよく聞かれます。寒いからって冬眠しているわけではありませんよ～。ということで、今月は森林官の冬山仕事を紹介しますね。



冬山仕事のメインは「森林調査」。夏には歩けない笹やブヤ沢などが深い雪に埋もれて歩きやすくなり、木々も落葉し、林内の見通しも良くなることから、この季節は調査には最適なのです。



雪に埋もれた林道をスノーモビルで走り、終点からはゾンメルスキーやスノーシュー(西洋かんじき)を履き、地形図を頼りに目的地へ。



到達すると早速作業開始。造林予定地の測量や人工林の生育状況、間伐の選木等の調査をこなします。



今日もどこの山奥深くで、森林官はより良い森林づくりを目指して頑張っていますよ～v

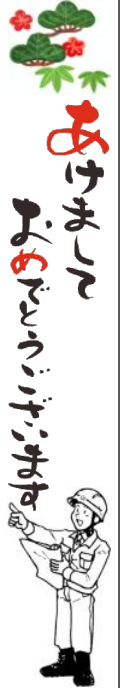
新築工事始まる～遠別合同森林事務所

新年あけましておめでとーございませう。さて、すでにご存じの方もいらっしゃると思いますが、町内北浜(緑町)では「遠別合同森林事務所」の庁舎新築工事が進行中です。同所には遠別森林事務所がありました。が、築40年を経過したことから、この度の建て替えとなりました。これに伴い、同じく老朽化していた西遠別及び東遠別の森林事務所を「合同」森林事務所へ集約し、完成後はこちらの庁舎

で業務を行います。新庁舎は木造平屋建て、床面積は約六十六平方メートル、室内は北海道産の木材を活用した「木質内装」となります。完成は三月中旬の予定です、現在は基礎工事を行っています。なお、工事の間、遠別森林事務所は、東遠別森林事務所内で業務を行っています。



こんなのだったらしいのになあ



あけましておめでとう

えんべつ合同森林事務所

森林にもっと光を入れよう!
清川第三で「受光伐」実施中

ひっそり静まりかえった森の奥から聞こえてくるチェンソーの音。現在、清川第三地区にある比志久内沢の国有林では伐採系森林整備事業として「受光伐」を行っています。「木を伐って森林整備?」という不思議な気がするかもしれませんが、これは、隣り合う林木の枝・葉が混み合い、すき間がない「うっ閉」した森林の一部を伐採し、日光が当たる場所を作り、稚樹の芽生えを促し、森林を樹齢・樹高の異なる樹木で構成される「複層林」へ導くことを目的にした間伐作業です。



陽光を入れるため選木した木を間伐します

「複層化」されることにより木の種類も多様となり、自然災害などにも強い、より天然度の高い森林へと生まれ変わります。また、間伐された木々は木材として利用します。陽光が降り注ぐようになり、森林が今後どのように移り変わっていくのか、見守って行きたいですね。



>>> 国有林内での狩猟を希望される皆様へ

国有林には、可猟期間であっても、間伐作業や各種工事、調査業務などのために多くの方が入林しています。このため、安全を確保し、狩猟に伴う事故を未然に防止するために、狩猟入林の規制を行っております。安全な狩猟となりますよう規制内容の遵守をお願いいたします。詳しくは森林管理署へお問い合わせください。

遠別の森から

留萌北部森林管理署 遠別・西遠別・東遠別森林事務所

北海道天塩郡遠別町北浜91番地2号

>>> 遠別町のみなさんに国有林の情報を毎月お届けします。1,500部発行、全戸配布です。

フォレスター通信



=森林ふれあい研修=

森林事務所では、学校現場と連携し、子どもたちに森林とのふれあい等を通じて自然環境の大切さへの理解を深めてもらう「森林環境教育」の充実に取り組んでいます。このたび、これらの指導者としての、より専門的な勉強をさせていただく機会を得て、東京都にある林野庁森林技術総合研修所において「森林ふれあい研修」を受講してきました。



講師には自然体験活動関連のNPOや森林研究機関の第一線で活躍されている方々を迎え、森林での野外活動をより楽しくするプログラム作り、指導者としての専門知識、解説技術、安全管理などについて、より実践的で専門的な内容を講義、討論、実習を通じて学んできました。



実習地となった高尾山は、スギ、ヒノキが香り、イノシシの気配?にあふれ、東京とは思えないほどの自然体感スポット。普段、北海道の森林としか接していない私にとっては、その植生等は大変興味深く、勉強になりました。

ここで学んできたことは、早速、今後の仕事に生かし、みなさんに森林での自然体験活動等をこれまで以上に楽しんでもらえるようなプログラムを実践して行きたいと考えています。

首席森林官 中鍵 貴之

空へ向かってのびゆく海岸防風林

遠別町浜啓明地区の国有林では、海から吹き付ける強烈な潮風などを弱め、私たちの生活や農地等を守るための「海岸防風林」の造成を平成三年から続けています。ここでは、植えた木々を強風から守るために防風柵で囲んだ区画にカシワナラやトドマツ等を植付けし、育てています。防風柵の高さは約二メートルあり、中の様子は見えにくく、非常に厳しい自然環境下、その

歩みは普通の山々に比べると遅いものの、木々は着実に生長を続けています。植栽後十年を経た区画では、写真のように柵から頭を出し、空に向かって枝を広げ始めています。



防風柵を越えて伸びるトドマツ



元気に育て北の森林!
浜啓明防風保安林



子ども達と一緒に森林づくり★どんぐり教室

このように海岸防風林を育てる作業に、遠別小学校の二年生の皆さんが「どんぐり教室」として長年参加しています。今年十月四日に、二十二人の皆さんが、スコップで植穴を掘り、肥料をまき、カシワナラ、トドマツ、ハンノキの苗木約八十本を大切に植付けしました。

九月に行った「森林教室」で森林づくりについて勉強してきたことの実践でもあり、みんな一生懸命。元気いっぱいの子供達は苗木を全部植付け終わると「もう苗木はないの?」「もう一つも一つもたくさん植えたい!」。



一生懸命に苗木を植付する子供たち

>>>エゾシカの狩猟期間です。ご注意ください!

国有林ではエゾシカの狩猟期間(平成18年10月25日から平成19年2月28日まで)につきましては、安全確保の観点から狩猟者以外の一般の方の入林を許可しないこととしていますので、ご理解とご協力をお願いいたします。



遠別の森から

留萌北部森林管理署 遠別・西遠別・東遠別森林事務所

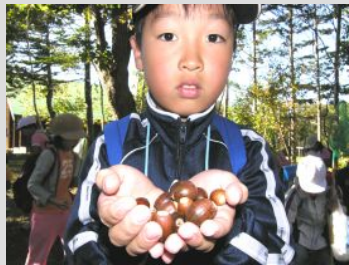
北海道天塩郡遠別町北浜91番地2号

>>> 遠別町のみなさんに国有林の情報を毎月お届けします。1,500部発行、全戸配布です。

富士見公園でいっぱい見つけたよ



ヤマブドウ見つけたよ、まだ酸っぱかったよ。



ドングリもいっぱい落ちていたよ。これだけあれば、動物たちの冬ごもりも大丈夫かな。



ウバユリの種は、すごく軽くて、風が吹くと遠くまで飛んでいきました。



キノコには枯れた木々などを腐らせて、土に還す働きもあるんだって。



ハート型の実がかわいいね。

十月五日、遠別小学校三年生の皆さんと秋晴れの富士見ヶ丘公園で森林教室を開催しました。

これは「森林環境教育」の一環として小学校と国有林が連携して行っているもので、今年度は春・夏・秋の三回シリーズで、季節の移り変わりとともに森林の様子がどう変わっていくかを勉強していきます。

最終回となった「秋編」は一年の総まとめ。東遠別森林事務所の松並善司森林官と一緒に、張り切って森の中へ入り

ました。

夏に見た花は種を付け、木々には沢山の実がなり、地面には色々なキノコがいっぱい。次々に現れる「新発見」に歓声を上げながらノートに記録し、楽しく勉強しました。さあ、どんなものを見つけたのかな？



フォレスター通信

三年生と秋の森林教室



元気に育て北の森林!

水源林にアカエゾマツ植付完了



中央地区の国有水源かん養保安林で進めていたアカエゾマツの造林作業がこのほど完了しました。

八万四千平方メートルの区域に植付けされた苗木は実に一万五千本。

森林づくりの現場は急傾斜、複雑な地形等の条件下にあり、機械化が難しく、苗木の植付けはクワで植穴を掘り、一本一本手作業で進める大変厳しい作業です。

そのような中で、ベテラン造林手のみなさんによって丹誠込めて植付けられたアカエゾマツは、これから下草刈りなどの保育作業を経なが



クワを使った手作業で行われる苗木の植付け

ら、遠別の「未来の森」となるべく、大空へ向かって生長していきます。

その間には北国の厳しい自然条件が待ち構えていますが、それらに打ち勝ち、一日も早く立派な森林となるよう、みなさんと一緒に見守って行きたいですね。

>>> エゾシカ狩猟期間の入林許可について

国有林ではエゾシカの狩猟期間（平成18年10月25日から平成19年2月28日まで）につきましては、安全確保の観点から狩猟者以外の方の入林を許可しないこととしていますので、ご理解とご協力をお願いいたします。



遠別の森から

留萌北部森林管理署 遠別・西遠別・東遠別森林事務所

北海道天塩郡遠別町北浜91番地2号

>>> 遠別町のみなさんに国有林の情報を毎月お届けします。1,500部発行、全戸配布です。

森林のことをみんなで楽しく勉強



木の高さを測る「測竿」で、教室の天井の高さを測ってみました。今度は体育館でやってみたいね！



男の子に”木の役”をやってもらって、木の幹の太さを測る「輪尺」で測ってみました。



入庁2年目、「自然や森の動物たちが大好き」でこの仕事を選んだ黒岩祐子森林官。「みんなも大きくなったら、「森林官」になって、一緒に山を歩こうね〜」。子供たちは元気に手を挙げて「は〜い！」(ありがと〜^^)



授業が終わってからの「感想文」の時間。みんなの思い思いの作文を見せてもらいました。来週の植樹体験もがんばろうね〜♪。

九月二十七日、遠別小学校二年生の皆さんと「どんぐり教室」を開催しました。当日は、遠別森林事務所の中鍵貴之首席森林官と天塩森林事務所の黒岩祐子森林官が先生役となり、子供たちと楽し



しいの一時間でしたが、森林への興味をもってもらい、また私達も元気パワーをもらい大変有意義な時間となりました。次週はみんなで「どんぐり」(ミズナラ)の植樹体験をする予定です。また楽しく森のお話しようね！

くお話ししながら、森やそこに棲む動物たち、森林官の仕事などについて、写真や森林調査の道具などを見て勉強しました。身を乗り出し、元気一杯に森林官へ質問を浴びせる子供たちに圧倒されました。



フォレスター通信
2年生と「どんぐり教室」



元気に育て北の森林！

学校の先生と防風林見学会



九月十五日、「浜啓明防風保安林」において防風保安林造成地見学会と植樹体験会を開催しました。これは遠別町教育振興会理科サークルの活動の一環として行われたもので、当日は小中学校の先生方四名の参加がありました。現地は森林造成事業の実施箇所で、平成三年から、海岸の強風を緩和し、農地・道路・家屋を守るためにカシワナラやグイマツを、防風柵・客土・排水工を施した上で植栽しています。



ハンノキとアカエゾマツを50本植えました。

下で森林造成を進める意義、森林技術などに理解を深めていました。見学会には「植樹体験」も行い、今後の生長に思いを込めながら、苗木をいねいに植え付けました。先生方の植えた木々が早く、大きく育ってほしいですね。

>>>入林の際はご注意ください！

収穫の秋、キノコの季節ですが、山ではヒグマ・スズメバチの活動が想定されます。入林の際は十分ご注意くださいとともに、管轄森林事務所において入林手続きをお願いします。



遠別の森から

留萌北部森林管理署 遠別・西遠別・東遠別森林事務所

北海道天塩郡遠別町北浜91番地2号

>>> 遠別町のみなさんに国有林の情報を毎月お届けします。1,500部発行、全戸配布です。

山に生きる魚？ エゾサンショウウオ

春先に山の中の水たまりを覗き込むと、エゾサンショウウオの卵がいっぱい見つけられます。しかし、同じ両生類のカエルなどと違い、成体の姿を見かけることは希ではないでしょうか。「清流の生物」という”誤解”もその機会を減らしていると思われま

す。実際には、名前の由来が「山に生きる魚」であるという説が言われるように、森林の湿った落ち葉の下でひっそり暮らしているのです。

そこで、エゾサンショウウオとはどんな生き物なのか、卵を採取してその生育を観察してみることにしました。



5/13 林道沿いの池で卵のうを採取。



6/15 心化して3週間ほど。フサフサしたエラがカエルと違う特徴です。エサはブラインシュリンプ（熱帯魚の初期飼料）を与えてみました。



6/29 足の生え方はカエルの逆。前足→後足の順でした。

食欲旺盛なのでエサを赤ムシに変えてみました。両手をいっぱい広げて水槽の中を泳ぐ姿は、なかなかかわい



いものです。

秋の植林15,000本始まります！

一雨毎に山の景色が秋色に染まっていく今日この頃。そんな季節の移ろいの中、町内中央地区の国有林では、笹やぶを刈払い、苗木を植付けられる状態に整える「地拵（こしらえ）」作業が進行中です。刈払い面積は八万四千平方メートルと、対する相手は背丈を遙かに超える太く、固い根曲竹、これらに困まれました。暑く、大変厳しい作業です。



笹やぶを刈り払い、植林床を作ります

町内共成地区の礼士辺林道沿いの国有林では、昭和五十年代後半から六十年代前半に植付けを行ったトドマツの造林地が順調に生育を続けています。このような中、それらの木々に巻き付き生長を阻害するツル植物を切り取る「ツル切り」作業と、日光を遮り生長を妨げる自然に生えてきた灌木などの倒す「除伐（じよばつ）」作業を進めています。作業面積は七十二万平方



灌木や生育不良木を除伐します

に及び、非常に手間のかかるものですが、森林の健全な生育に欠かすことのできない作業です。完了後の造林地は、とてもすっきりし、これなら木々がさらに元気に育ってくれそうです。今後の生長がますます楽しみです。ね。



先日、水族館に成体がいると聞き、早速見てきました。目がクリクリとして、なかなか愛嬌のある顔です。寿命は10年以上あると言われる彼らが、森の中でひっそり暮らしている自然環境、みんなで大切にしていきたいですね。

フォレスター通信
「地拵（こしらえ）」作業実行中

元気に育て北の森林！
ツル切り・除伐で森は元気に

遠別の森から

留萌北部森林管理署 遠別・西遠別・東遠別森林事務所

北海道天塩郡遠別町北浜91番地2号

>>> 遠別町のみなさんに国有林の情報を毎月お届けします。1,500部発行、全戸配布です。



フォレスター通信
三年生と夏の森林教室



夏の富士見公園は発見がいっぱい

七月二十一日、遠別小学校三年生の皆さんと富士見ヶ丘公園で夏の森林教室を行いました。

これは「森林環境教育」の一環として小学校と国有林が連携して行っているものです。

五月の「春編」に続き二回目となった今回「夏編」は、春と同じコースを森林官の説明を聞きながら一緒に歩き、草木や虫たちの様子が前回とどう変わったか観察しました。園内は、春には新芽だった木々が大きく葉を広げ、花や実



森林官の解説を興味深く聞く皆さん

を付け、池のオタマシヤクシはカエルになり、頭上ではセミの大合唱、地面は忙しそうにエサを運ぶアリの行列等々。児童の皆さんは次々に現れる「新発見」を、歓声を上げながらノートに記録し、楽しく勉強しました。



「木に何かついてるぞ〜！」との声に、みんなが集合。その正体は？



昨晚、羽化したばかりの「エゾゼミ」でした。みんなに見つけて、捕まるまいと？、木の上へゆっくり上がっていきました。



桜の木の下に集まって、みんなが一生懸命探っているのはサクランボ？？



残念！、真っ黒くてとっても渋い「桜の実」でした〜。こんな感じで、いっぱい「新発見」のあった一日でした。

元気に育て北の森林！

夏山では管理作業中です



若い人工林を対象に、オーナーの皆さんと一緒に森林を育てていく「分収育林」。町内の国有林には、清川・共栄地区に約六畝に及び契約林があります。森林事務所では定期的な巡視と併せて、その境界の明確化、アクセス路の確保等のため周囲区画線の刈り払い等を行っています。



周囲区画線の刈り払い作業



ホイールローダによる林道維持作業

また、広大な国有林野を守り育てていくために林内に張り巡らされた「林道」の点検や維持修繕作業も大切な仕事です。車両の走行に支障となる夏草の刈払い、崩土の除去や雨水によって浸食された路面の整正等を適期に行い、その管理に努めています。

夏休みの自由研究は、もう終わったかな？

小学生の皆さんは、夏休みも半ばですね。自由研究はもう終わりましたか？林野庁では、小学生の皆さん向けに「こども森林館」という楽しく遊びながら学べるホームページを用意しています。研究の良いヒントが見つかるかもしれませんよ。

ぜひ、覗いてみてくださいね。 <http://www.rinya.maff.go.jp/kids/>



遠別の森から

留萌北部森林管理署 遠別・西遠別・東遠別森林事務所

北海道天塩郡遠別町北浜91番地2号

>>> 遠別町のみなさんに国有林の情報を毎月お届けします。1,500部発行、全戸配布です。

みんなの植えた木 どうなったかな？

昨秋の「どんぐり教室」(現遠別小3年生)と「森林づくり現場見学会」(小中学校の先生)で、みんなで植えたどんぐり(ミズナラ)がどうなっているか、森林官が浜啓明の防風保安林へ見に行ってきました。



「どんぐり教室」で整然と並べた紙ポットをのぞき込んでみると・・・。



大きな葉っぱを広げていました^^。一安心ですね。



「森林づくり現場見学会」で先生方が植えた苗木もしっかり根付いていました^^。これからも大きく育つように見守って行きますね！

森林づくりの道、工事中です

国有林の奥深くへ伸びる「林道」は森林の手入れをしたり、苗木、資材や木材を運搬したり、森林づくりを進めるためになくはならない大切な道路です。現在、遠別地区の国有林では、昨年の雪解け時の河川増水などで浸食、欠損した林道五路線(幌別、老楽、上遠別、大成第一、又プリ)の復旧工事を進めています。これらの沿線には、沢山の造林地が広がり、下刈り、除草などの保育作業や伐などの間伐作業等に

欠かすことのできない路線であることから、コンクリートよう壁などを施工し、復旧させます。近隣住民の皆さまには、工事車両の通行などでご迷惑をおかけしますが、ご理解とご協力をよろしくお願い致します。



よう壁工を進めている幌別林道



フォレスター通信
老楽林道外4路線災害復旧工事



元気に育て北の森林!

造林木の下草刈りを実行中です

真夏の太陽へ向かって伸びる幼木にとって最大の敵は、それを上回る速さでぐんぐん伸びる夏草たち。このまま放っておいては、幼木はすっぽり覆われてしまつて、陽も当たらず、大きくなれません。そのため、造林地では植え付けられた苗木が、周りの草本たちより高く生長するまでの間、毎年この時期に下草刈りを行います。標準的には年間8回連続行われますが、夏の短い道北地方では生長も遅く、より長い期間必要になることもありま



造林地の下刈りの作業

作業は刈払機を巧みに操りながら造林木を間違つて切らないよう注意深く進めます。真夏の炎天下での作業ですが、地道に手入れを続けていくことによって、植えられた木々は大きく育っていきます。一日も早く立派な森林になってほしいですね。



山火事予防ポスターと標語を募集しています

山火事を予防するには、一人一人が森林を守っていく意識を高めていくことが大切です。そのために、これらのPRに活用させていただく「山火事予防のポスター用原画」、「標語」を募集しています。詳しくは <http://www.center-green.or.jp/> をご覧ください。

主催：(財)林野弘済会 後援：林野庁ほか 募集期間：平成18年6月1日～9月15日



遠別の森から

留萌北部森林管理署 遠別・西遠別・東遠別森林事務所

北海道天塩郡遠別町北浜91番地2号

>>> 遠別町のみなさんに国有林の情報を毎月お届けします。1,500部発行、全戸配布です。

春夏秋3回シリーズ森林の探検



フォレスター通信
遠小三年生と森林教室



富士見ヶ丘公園はエソヤマザクラが満開。花びらの枚数や形も熱心に観察して、記録しました。



「木に何かついてるぞ〜」。みんなが集まってきて「これ何だろう??」。この好奇心が大切です。



「これで40年も経ってるぞ!!」。切り株の年輪を一生懸命数えました。



「ハビ発見!」子供の歓声に大慌てで逃げました。

五月二十二日、遠別小学校三年生の皆さんと富士見ヶ丘公園で春の森林教室を行いました。これは「森林環境教育」の一環として小学校と森林管理署が連携して行っているものです。今年の三年生のカリキュラムは、春・夏・秋の三回シリーズとして企画。季節とともに移り変わる森林の植生や虫たちの様子を継続的に観察し、学習していきます。「春編」の今回は、



森林官の説明を熱心に聞く皆さん

森林官と一緒に林内を歩きながら、この季節ならではの植物などを観察しました。山菜らしき草を見つけては、「これ食べられる?」などとすかさず質問。とっても元気な皆さんと楽しく勉強した一日となりました。<

快晴に恵まれた五月二十一日、遠別町に春の訪れを告げる「富士見ヶ丘公園開き山菜まつり」が開催され、留萌北部森林管理署では、今年も山菜採取の協力を行いました。この準備には、約三週間前から現場の行き帰りなどに山菜の分布、生育状況をチェック。一週間前から行者ニンニク、ユキザサ、ニンソウなど十三種類を採取し(フキは実行委員会の応援を頂きました)、山菜の調理を担当する係の皆さんにお届けしました。当日は、山菜料理の前には試食を待つ長蛇の列ができ、美味しい笑顔が会場いっぱい広がっていました。また、お土産に配られたフキの束も数分で品切れになるなど大盛況。皆さんと一緒に美味しく、楽しい春の一日を過ごすことができました。

国有林の山菜をみなさんへ、森林事務所が採取協力

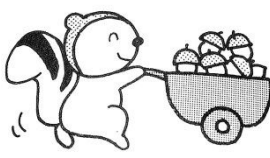


恒例のフキの無料配布も大人気!!

山の恵みをみんなが美味しく
富士見ヶ丘公園「山菜まつり」



>>> 販売を目的として山菜を採取されるみなさんへ



国有林においてフキ、ウドなどの山菜を販売目的(山菜買い取り業者へ持ち込むことも含みます)で採取される場合は、森林管理署との「林産物買受契約」が必要となります。詳しくは下記までお問い合わせ下さい。

遠別の森から

留萌北部森林管理署 遠別・西遠別・東遠別森林事務所

北海道天塩郡遠別町北浜91番地2号

>>> 遠別町のみなさんに国有林の情報を毎月お届けします。1,500部発行、全戸配布です。

春を探して山仕事

残雪越えて境界巡視

春の山仕事は雪解けとの競争です。なぜなら、冬の間、沢や笹藪が雪で埋まり、スノーモビルやスキーでどこまでも行けた山々が、もとの姿へ戻ってしまうからです。



このような中、森林事務所では国有林と民有地の境界を巡視し、異常の有無の点検や「境界見出標」の更新などを行う作業を進めています。



残雪も残りあとわずか。皆さんのお手元に本紙が届く頃には、融雪に追いつかれて作業終了でしょうか。

熊さんも、それまでもう少しおとなしくしてね^^

奨励賞を受賞しました 林業関係広報コンクール

このたび「第40回林業関係広報コンクール」(全国林業改良普及協会主催)において、当所のミニコミ活動が同協会会長賞(奨励賞)を頂くことになりました。

これからもより良い紙面作りに努め、町内の皆さんへ国有林の情報を伝えていきたいと思っていますので、どうぞよろしくお願いいたします。

アカエソ15,000本植えます!

中央地区の水源かん養保安林において、アカエソマツの植付を行うほか、植栽木の生長を妨げる下草の刈払い(下刈)、灌木類の除去(除伐)、作業路の修理等を行います。

◆造林事業◆

暖かな風が心地よく流れ、遠別の山々では草木が芽吹き、溪流ではヤチブキが咲き誇る季節になりましたが、いかがお過ごしでしょうか? さて、今回は遠別地区の国有林における今年度の主な事業を紹介いたします。



アカエソマツ植付作業

◆林道事業◆

森林づくりに欠かすことのできない「林道」の計画的な整備、自然災害による不通箇所への復旧工事等を行います。

- ・地拵(八・四畝)
- ・植付(一五〇〇〇本)
- ・下刈(五〇・七畝)
- ・除伐(七二・〇畝)
- ・作業道修理(三・四km)
- ・歩道修理(一・四km)

◆治山事業◆

浜啓明地区の防風保安林造成地において植栽木の生長を妨げる下草の刈払いを行います。下刈(四・二畝)

◆伐採系森林整備事業◆

比志久内沢地区で、うっ閉した森林の一部

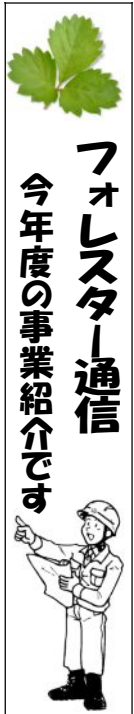


重機を使った林道修理作業

を伐採し、日光が当たる場所を作り、稚樹の芽生えを促し、森林を復元化していくことを目的にする間伐である「受光伐」を行い、その木材も利用します。
・受光伐(七三〇㎡)

このほか、健全な森林を育てるための間伐事業、森林計画編成のための林況調査、国有林境界の巡検、野鼠の生息調査、子供たちとの森林教室などを計画的に進めて行きます。

今年度も遠別国有林がより良い森林となるよう、職員一同頑張りますので、みなさんのご理解と協力をよろしくお願いいたします。

フォレスター通信
今年度の事業紹介です

>>> 販売を目的として山菜を採取されるみなさんへ



国有林においてフキ、ウドなどの山菜を販売目的(山菜買い取り業者へ持ち込むことも含みます)で採取される場合は、森林管理署との「林産物買受契約」が必要となります。詳しくは下記までお問い合わせ下さい。

遠別の森から

留萌北部森林管理署 遠別・西遠別・東遠別森林事務所

北海道天塩郡遠別町北浜91番地2号

>>> 遠別町のみなさんに国有林の情報を毎月お届けします。1500部発行、全戸配布です。

春探し林道探検

清川林道

市街地は日増しに雪解けが進んでいますが、山中はどんな様子でしょうか。今回は道道遠別中川線の咲花トンネル手前から国有林奥深くへ伸びる「清川林道」へ春探しに出掛けてみました。



林道は未だ2m超える積雪で閉ざされています。



これでは、春はまだまだなあ〜と、スノーシューを履いて進んでいくと、溪流に春を告げるネコヤナギの新芽が綿毛を広げ始めていました。



さらに奥へ進んでいくとナカマドの新芽もふくらみ始めていました。

雪深くとも春の準備は着々と進行中。これらが一気に開くのも、もうすぐそこです。

くらしを守る防風保安林

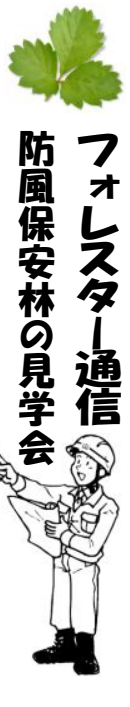
三月十五日、留萌北部署管内の国有防風保安林の見学会を開催しました。これは強風を緩和し、私達の暮らしや農作物などを守っている「防風保安林」への理解を深めてもらうことを目的に行ったもので、新聞などでの一般公募で集まったみなさんとバスに乗り、幌延町・天塩町・遠別町にある国有防風保安林を案内しました。当日は強風が吹き荒れるあいにくの天候でしたが、林内に入ると嘘のように風がやわらぎ、穏やかな環境になるのをしっかりと体感できました。

参加者の皆さんからは、防風保安林が随所にあることやその効果の大きさに驚きの声が聞かれ、認識を深めていただく良い機会となりました。遠別町内には八地区(下記位置図)合計七十九

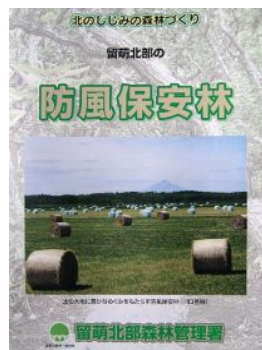


見学会参加者のみなさん

があり、保安林制度の下、伐採制限などの保護策がとられ、大切に守り育てられています。その防風効果は林縁から数百メートルにも及び、強風が緩和されることにより次のような効果があります。
①急激な温度変化の緩和
②土壌の風による浸食防止
③土壌・農作物からの蒸散緩和
④土壌中の水分の増加
⑤水位の上昇
⑥農産物の収量の増加
⑦雪の吹き寄せの防止など。



このたび「留萌北部の防風保安林」のパンフレットを作成しました。希望者には無料で配布していますので、お気軽にご連絡下さい。



森林管理署では、これらの働きが十分に発揮されるよう、苗木の植付や保育作業などを行うと共に日々適切な管理に努めています。今後この大切な防風保安林を守っていくために、皆様のご理解とご協力をよろしくお願ひします。

大切な森林を山火事から守りましょう!



春は空気が乾燥し、山火事の危険が高まる季節です。森林は一旦火災などで失われると、その大切な機能が回復するまでには何十年もの年月と多大な経費を要することになります。山火事のほとんどは、人為的な要因によって起きています。このことは、私達一人ひとりが火の取扱いに注意することで山火事を未然に防止できるということでもあります。かけがえのない貴重な森林を守るため、皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

遠別の森から

留萌北部森林管理署 遠別・西遠別・東遠別森林事務所

北海道天塩郡遠別町北浜91番地2号

>>> 遠別町のみなさんに国有林の情報を毎月お届けします。1500部発行、全戸配布です。

冬の林道探検

こんなの見つけたよ^^!

3月に入り雪質もガリガリに締まって歩きやすくなりました。

今月はそんな林道で見つけたものをスナップしてきましたよ。



まるでおとぎ話に出てくる小人のおじいさんみたい。これはクルミの木の新芽ですよ。



これは地球侵略にやってきた怖い宇宙人^^?、いえいえ、ホウノキの新芽ですよ。



この木の洞穴はキツツキが一生懸命作ったお家でしょうか? それにしても、これだけ激しく突っついて、よく脳震とうにならないよね^^!

旭のトドマツ元気に育ってます

旭地区は昭和四
五、六年にかけ
て植栽されたト
ドマツの人工林
で、その後三年
を経過、高さは
十四、十五、十
六、十七、十八
メートルに成長
しています。

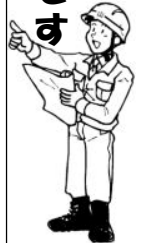


列状間伐が行われたトドマツ人工林

この作業では「列
状間伐」という方
法を取り入れてい
ます。この方法は
木々が植えられた
列を、例えば三列
を残して四列目を
伐採するといった
作業を繰り返すこ
とによります。



フォレスター通信
旭地区で間伐です



間伐で森は生き生き～大きく育て!

間伐率(※)を二五%などとするもので、伐倒や搬出などの直線化により、作業効率の向上などが図られます。伐採された木々はブルドーザで集め、麓の土場まで運び込まれ、用途に応じた長さに玉切りにし、積み上げられます。そして、順次トラックで消費地へ運ばれていきます。



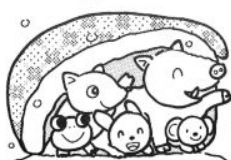
ブルドーザによる集材作業

また、日光が降り注ぐようになった地面には、沢山の新たな植物が芽吹き、その森林は生き生きとした活力のある状態になります。国有林ではこのような間伐作業を積極的に進め、元気な森林を育てています。旭地区のトドマツ林もどんどん大きく育ってほしいですね。

「木づかい」は誰にでもできるエコ活動～みんなで止めよう「地球温暖化」

日本では国産の木材があまり使われていません。このため、手入れが行き届かない人工林が増えています。植える、育てる、収穫する、上手に使うというリサイクルが、CO2をたっぷり吸収する元気な森をつくれます。

「木づかい」とは、暮らしに国産材の製品をどんどん取り入れて森を育てるエコ活動。木を使うことから、すべてが始まります。みんなで止めよう地球温暖化! <http://www.rinya.maff.go.jp/>



遠別の森から

留萌北部森林管理署 遠別・西遠別・東遠別森林事務所

北海道天塩郡遠別町北浜91番地2号

>>> 遠別町のみなさんに国有林の情報を毎月お届けします。1500部発行、全戸配布です。

冬の林道探検

旭林道を歩く

管轄国有林をパトロールし、その自然状況を把握するのも森林官の仕事です。

ある晴れた日、旭温泉から先へ伸びる「旭林道」をノーシューを履き、深雪をかき分けながら歩いてみました。



夏場は車で駆け抜けてしまいう林道も、ゆっくり雪を踏みしめながら歩くと、普段見えなかった景色が見えてきます。



雪原に点々とびる足跡は野ウサギでしょうか？
この他にもタヌキ？キツネ？等の元気な足跡が多数。餌探しをしていたのかな。



今からこんなに広げて大丈夫？と心配してしまうような木々の芽。あと1ヶ月ちょっとの辛抱でしょうか。

さて、今回は巡視中のフォトスケッチを紹介しました。来月からは春の気配を少しずつお伝えしたいと思います。

「冬の間に、森林官の皆さんはどんな仕事をしているのですか？」と愛読者(?)からの質問、「待ってました!」とばかりにお答えしましょう。

今の時期、山も林道も深い雪に埋もれているからといって「冬休み」をしているわけはありません。

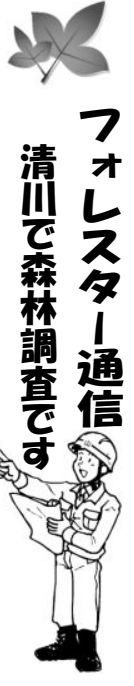
むしろこの季節は、夏には歩くのが困難な笹やブヤ沢などが深い雪に埋もれて歩きやすく、また、木々の葉が落ちたため、林内の見通しも良いことから森林調査には最適。

雪に埋もれた林道をスノーモビルでシバシバきつた空気を切り裂きながら

走り、終点からは、スキーにアザラシ皮の滑り止めを取り付けた山仕事専用の「ソンメルスキー」を履き、キツイ斜面を湯気立ち上らせながら毎日調べて調査地へ向かう毎日なのです。



輪尺でトドマツの太さを計測中



フォレスター通信
清川で森林調査です

すくすく育つ清川のトドマツ人工林

現在は清川地区、熊井沢・清川右股・清川左股の各林道沿いの人工造林地において調査を進めています。

これらの造林地は昭和四〇年代にトドマツが植栽され、三十余年を経過した森林で、成長した木々の太さや高さ、本数、自然に生えてきた天然木の数などを細かく調べ、その結果を基に、例えば「成長状況が良く、木々が混み合っているので、間伐(間引き)が必要」などと判断していきます。

積雪寒冷地の厳しい条件下にある



ソンメルスキーを履いて林内を進む森林調査隊

ものの調査地の造林木は、平均して高さ十一メートル、太さ十二センチ程度に成長しており、今後は間伐作業などを考えています。

今期の調査対象面積は約七〇〇畝に及びますが、三月末までには調査を終える予定で全所員五名で頑張っています。



みんなで止めよう温暖化！「木づかい」は誰にでもできるエコ活動です

日本では国産の木材があまり使われていません。このため、手入れが行き届かない人工林が増えています。植える、育てる、収穫する、上手に使うというリサイクルが、CO2をたっぷり吸収する元気な森をつくります。

「木づかい」とは、暮らしに国産材の製品をどんどん取り入れて森を育てるエコ活動。木を使うことから、すべてが始まります。みんなで止めよう地球温暖化！

遠別の森から

留萌北部森林管理署 遠別・西遠別・東遠別森林事務所

北海道天塩郡遠別町北浜91番地2号

>>> 遠別町のみなさんに国有林の情報を毎月お届けします。1500部発行、全戸配布です。

森林官も日々勉強

森林整備技術検討会

このたび留萌北部森林管理署では森林整備技術の向上のため森林官等を集め、現地検討会を天塩・幌延地区の国有林で行いました。

遠別からも全職員が参加し、伐採による森林整備方法である「受光伐」(※1)、「誘導伐」(※2)に対応した森林の調査や施業方法等について、これらの実施地や予定地に入り、より良い森林づくりへの検討を重ねました。(写真)



近年、森林には「地球温暖化防止機能の発揮」、「災害への強さ」が特に求められており、これらに資する森林づくりを進める上でも伐採系森林整備事業が注目されています。

遠別地区国有林においても、今回検討し、学んだことを生かしながら、より良い森林づくりに努めていきたいと思っています。

(※1)森林の一部を伐採し、森林内に日光が当たる場所をつくって樹種の芽生えを促し、複層林化していくことを目的とした森林整備方法。

(※2)人工林を対象に、15年程度の間隔で数回抜き伐りし、そこへ苗木の植栽等を実施することで、樹齢100年以上の上層木が循環的に伐採、利用できる多段林へ誘導することを目的とした森林整備方法。

植林した木々が数十年を経て大きく育つてくると、隣同士の木の枝が触れ合うようになり、日光が幹の先の部分にしか当たらなくなります。これをそのまま放っておくと太くなれず、ヒヨロヒヨロのモヤシのような木ばかりのひ弱な森林になってしまいます。そうならないよう適期に、例えば三〜五本に一本程度を間引いてあげる必要があります、この作業を「間伐」(かんばつ)といえます。

現在、遠別町共栄地区・歌越林道沿線の国有林では、一月末までの予定で、この「間伐」作業を行っています。現地は昭和三八〜三九年に植栽されたトドマツの人工林で、高さ約十二メートル、直径二十センチ程に成長しています。間伐の実施に当たっては、木々の混み具合や生



チェーンソーによる伐倒作業



フォレスター通信
共栄で「間伐」実行中



間伐で森林は生き生きパワー全開！！

育状況を把握するなど、基準に沿って調査、算出した「間伐率」をもって伐採を行っています。作業が完了すると、林内が広々するとともに木々は太くしっかりと育ち、地面に日光が届くようになり植生は多様化し、その森林は生き生きとした活力のある状態になります。間伐された木々は発育途上で細く、本格的に利用できる木材にはなりにくいため、用途を工夫し、例えば、土木工事の資材や木質チップなどに加工し、無駄



土場に集積されたトドマツ間伐木

なく活用しています。遠別地区の国有林においても、海岸林造成地で強風から幼木を守る「防風柵」や治山工事の「土留め工」資材「などへ、これらの木々を利用し、新しい森林づくりにもつなげていきます。間伐後の森林のさらなる成長が今からとても楽しみです。

「国有林モニター」を募集しています！



林野庁北海道森林管理局では、みなさんに国有林の役割や現状を理解していただくとともに、国有林野の管理・経営にみなさんの声を役立てていくことを目的として、平成18年度の「国有林モニター」(北海道全体で50名程度)を募集しています。

応募条件等詳しくは北海道森林管理局ホームページ <http://www.hokkaido.kokuyurin.go.jp/>をご覧ください。

遠別の森から

留萌北部森林管理署 遠別・西遠別・東遠別森林事務所

北海道天塩郡遠別町北浜91番地2号

>>> 遠別町のみなさんに国有林の情報を毎月お届けします。1500部発行、全戸配布です。

狩猟者のみなさんへ

国有林におけるエゾシカの狩猟には森林管理署の入林許可が必要です。

冬期間、国有林内では造材、測量、各種森林調査などが行われており、これらの作業の安全確保のため立入禁止区域、期間等を定め、林道の入口等に看板（写真）での表示を行っています。



狩猟者の皆様のご理解とご協力をよろしくお願い致します。

なお、入林申請方法や規制状況など、詳しくは留萌北部森林管理署までお問い合わせ下さい。

解体工事中です

11月から旧遠別森林管理センター庁舎の解体工事を進めています。

完了後は公共用地として活用される予定です。



子供達が絵を描いたカラフルな植木鉢にミスナラの苗木を植え付けました。

総合学習で『森林官の出前授業』と『ドングリ植え付け』

遠別小学校2年生のみんなとドングリ教室



「大きくなったら森林官になりたい人?」「はいっ!はいっ!は〜い!!!」
教室には元気な声が響き渡り、森林官も大感激〜v。



「山の木の太さはこうやって測りま〜す」。
「森林官のおじさ〜ん、それやらせて〜!!!」。
測樹ごっこ大会突入!!!



土に還る再生紙の植木鉢「カミネッコン」に、ドングリの苗木（ミスナラ）をみんなで植えました。
早く大きくなってね!

十一月四日と七日の両日、遠別小学校二年生の皆さんと「ドングリ教室」を開催しました。
初日は遠別森林事務所の中鍵首席森林官が先生役を務める「出前授業」。森やそこに棲む動物たちの話や森林官の仕事などについて、スライドや山仕事の道具を見たりしながら、「子供達との対話」を交え、楽しく勉強しました。
二日目はドングリの苗木を植える「植樹体験」。浜啓明の造林地へ向かう予定でしたが、雨天のため校内での実施になりました。
子供達は「早く大きくなってね」と願いを込めながら紙製の植木鉢にていねいに苗木を植え付けました。これらは森林官が預かり、天候の回復を待って、予定地へ植え付けし、その様子は後日パネル写真にしてお届けしました。
子供達に森林への興味を持ってもらい、また、所員一同、元気パワーをもらった大変有意義な二日間になりました。
みんな、また森のお話しようね!

『林野庁のメルマガ』読んでみませんか？

林野庁では、「地球温暖化防止森林吸収源10カ年対策」をはじめとする森林・林業施策について、みなさんに理解を深めていただくために、メルマガジン『森林(もり)づくりと木づかいの便利』を発行しています。

このメルマガでは、林野庁の施策を紹介するだけでなく、森林ボランティアに関する情報やイベント情報など幅広い情報を掲載し、原則として毎月1回、20日に発行しています。どなたでも無料で利用できますので、登録して読んでみませんか？ 登録方法など詳しくは林野庁ホームページ <http://www.rinya.maff.go.jp> をご覧下さい。



遠別の森から

留萌北部森林管理署 遠別・西遠別・東遠別森林事務所

北海道天塩郡遠別町北浜91番地2号

遠別町のみなさんに国有林の情報を毎月お届けします。1500部発行、町内全戸配布です。

>>> OUR FOREST

木々の生長を助ける つる切り・除伐作業

大成地区の国有林では、昭和40年代に植え付けを行った造林地が順調に生育を続けています。

そんな中、それらの木々に巻き付き生長を阻害するツル植物を切り取る「つる切り」作業と、植栽木の生長を妨げる自然に生えてきた灌木などの樹木や生長の悪い植栽木などを切り倒す「除伐」作業が進められています。



灌木を切り倒す除伐作業

この作業は非常に手間のかかるものですが、森林の健全な生育に必要不可欠な作業です。

作業が完了した後の造林地は、とてもすっきりし、これなら木々がさらに元気に育ってくれそうです。今後の生長がますます楽しみです。



秋の森はどんな感じ？

遠別小三年生のみんなと森林教室



秋晴れの十月十一日、遠別小学校三年生のみなさんと木々が色づきだした富士見ヶ丘公園で森林教室を開催しました。今回は春に行った教室の続編として、季節によ

る森の様子の移り変わりを、東遠別森林事務所の松並森林官（森林インストラクター）と一緒に観察しました。皆さんは春に来たときは趣の変わった林内を歩きながら、紅葉した木々の葉、かわいいドングリを拾い集め、スケッチをしたり、キノコや木の実を見つけたり、新たな発見があると「歓声」を上げ、森林官へ質問攻め。

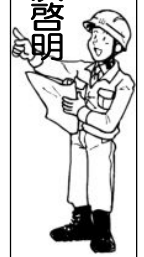
元気な子ども達に圧倒されながらも、楽しい秋の一日になりました。



浜啓明地区の防風保安林では海岸林造成が進められていますが、このたび苗木の植え付け作業が行われました。この地区は、かつては森林だったものが開拓期の伐採や山火事により焼失したと伝えられており、長年にわたり森林の造成が続けられています。海岸地帯という厳しい気象条件を克服するため、強風を緩和する防風柵の設置、泥炭地質を克服するための客土を行った上で、通常の造林地の五倍にもなる、一畝当たり一万本もの密植とし、今年にはハンノキ、ギンドロ、グイマツなどを二千本植え付けました。



フォレスター通信
海岸を森林地帯に 浜啓明



一本一本ていねいに植え付けられました

厳しい環境下ではありますが、長年の手入れにより造林木は着実に生長を続けており、この地区が広大な森林帯になるのも夢ではありません。その日まで、みなさんと一緒に見守って行きたいと思います。

>>>国有林におけるエゾシカ狩猟について

国有林におけるエゾシカの狩猟には森林管理署の入林許可が必要です。また、立入禁止区域、期間等が定められていますので下記へお問い合わせ下さい。なお、エゾシカ狩猟期間については、安全確保の観点から、狩猟者以外の方の入林は許可しないこととしていますので、ご理解とご協力をお願いします。



遠別の森から

留萌北部森林管理署 遠別・西遠別・東遠別森林事務所

北海道天塩郡遠別町北浜91番地2号

遠別町のみなさんに国有林の情報を毎月お届けします。1500部発行、町内全戸配布です。

>>> OUR FOREST

>完成しました！

>>布引沢治山工事



大成地区・遠別川支流の布引沢で工事が進められていた治山ダムが完成しました。

このダムにより、崩壊堆積した溪流内土砂の安定化とともに、天然木の発生、生長による自然林への再生が図られます。

>>清川地区治山工事



清川地区・ウツナイ川支流の清川左岸で工事が進められていた山腹崩壊地の緑化工等が完成しました。

施工地には自然災害によって崩れた山肌に植生ネットが張り付けられました。このネットからは草本が発芽、根を下ろし、その生長とともにがっちり急斜面を守り、将来は「緑の山」へ還ります。



首席森林官から保安林の説明を受ける皆さん

九月十二日、「浜啓明防風保安林」において海岸防風林造成地見学と植樹体験会を開催しました。これは遠別町教育振興会理科サークルの活動の一環として行われたもので、当日は小・中学校の先生方八名の参加がありました。

現地は森林造成事業の実施箇所で、平成三年から、海岸の強風を緩和し、農地・道路・家屋を守るためにカシワナラやグイマツを、防風柵・客土・排水工を施した上で植栽しています。一行は遠別森林事務所の中継首席森林官の説明を聞きながら造林地を歩き、過酷な気象条件下で森林造成を進める意義、森林技術などに理解を深めていました。見学後にはミスナラ苗木の「植樹体験」も行い、今後の生長に思いを馳せながら、ていねいに植え付けていきました。先生方の植えた木々が早く大きく育って欲しいですね。

森林づくりの現場で見学会

小・中学校の先生と森林教室



順調に生長するアカエゾマツ

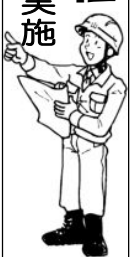
このたび、昨秋にアカエゾマツを造林した清川、大成地区の国有林において、植栽後一年が経過し、それらが順調に生長しているかの調査を行いました。これは「活着率調査」と呼ばれ、植え付けた苗木の生存率を調査し、万が一、気象害などによって枯れてしまったものが一定数を超えた場合に植

え直しをする「補植」を行うための予備調査でもあります。幸い、同地区のアカエゾマツの活着率は、ほぼ一〇〇%、生育も大変良好で一安心。このまま順調に大きく育ってほしいですね。また、中央、正修、奥正修地区の国有林においては、造林木に害を及ぼす「野ネズミの生息数調査」を行いました。これは一定面積にワナを設置し、それによる捕獲数を調べるもので、その数が基準を超えると、薬剤等による駆除が行われますが、今回は異常発生もなく、こちらも一安心。平和な秋になりました。



フォレスター通信

野ネズミ調査等を実施



>>>入林の際はご注意ください

収穫の秋、キノコの季節ですが、山ではヒグマ・スズメバチの活動が想定されます。入林の際は十分ご注意くださいとともに、管轄森林事務所で入林手続きをお願いします。



遠別の森から

留萌北部森林管理署 遠別・西遠別・東遠別森林事務所

北海道天塩郡遠別町北浜 91 番地 2 号

遠別町のみなさんに国有林の情報を毎月お届けします。1500部発行、町内全戸配布です。

>>> OUR FOREST

新しい看板立ちました！

～北里第一防風保安林～



国道232号線沿いに位置する「北里第一防風保安林」に新しいPR看板が立ちました。

強風を緩和し、私たちの暮らしを守る森林です。大切に守って行きましょう。

境界保全にご協力を！



国有林と民有地等の境界にはコンクリート標等の「境界標」が埋設され、直近の立木等に赤ペンキを塗布し、その「見出し」としてあります。

しかし、その「見出し」自体を境界と誤認されることも多いようです。

正規の境界はコンクリート標等の「境界標」(上記写真)ですので、境界付近で工事や営農作業などをされる際は十分ご注意ください。



客土された造林床へ苗木が植え付けられます

天高く澄み切った青空に秋を感じる今日この頃ですが、皆さんはいかががお過ごしでしょうか？
現在、浜啓明地区の国有林では秋の造林のための準備作業として、笹等を刈払い、整地し、苗木

を植ええられるようにする「地拵」(じごしらえ)と、木の育ちにくい泥炭地質を改良する「客土」作業が行われています。
この後引き続き、苗木を強風から守るため、間伐材を活用した「防風柵」の設置工事を行った上で、ナナカマド、ハンノキ、グイマツ、ギンドロ、ヤチダモの苗木を合計二千本植え付けします。
この地区は「防風保安林」に指定されており、海岸からの厳しい風を緩和し、農地・道路・家屋を潮風や吹雪などから守るため、長年、森林の造成が続けられています。
厳しい環境下で力強く育つ海岸林、その生長が楽しみです。

今秋も「浜啓明」に造林します


ナナカマド他二〇〇〇本・浜啓明防風保安林



測量機器を使った境界検測作業

森林官の大切な仕事の一つに国有林の「境界管理」があります。
国有林と民有地等との間には、その境を示すコンクリート標等の「境界標」が埋設され、さらに、その目印として直近の立木等に赤ペンキを塗布、「見出標」を取付し、遠くからも分かるようにしています。

これらは決められた期間毎に巡視、点検し、破損や侵害(不法占拠など)がないかの確認を行っています。
しかし、自然災害などによって破損、埋没し、その所在が不明となることもあり、その場合には測量機器を使って、境界標の再現をする「境界検測」作業を行います。
今期は、清川・丸松・北里地区の防風保安林において同作業を行い、境界を明確にしました。

フォレスター通信

境界検測を実施しました



>>> 地球を守るみんなの財産・国有林

森林は地球温暖化の主要な原因である二酸化炭素を吸収・貯蔵することから地球温暖化防止への貢献が期待されています。

遠別の森から

留萌北部森林管理署 遠別・西遠別・東遠別森林事務所

北海道天塩郡遠別町北浜 91 番地 2 号

遠別町のみなさんに国有林の情報を毎月お届けします。1500部発行、町内全戸配布です。

>>> OUR FOREST

元気な育て北の森林!
植栽木の保育作業実行中です



カシワナラ造林地の下刈作業

真夏の太陽に向かって伸びるカシワナラの造林地。いつもは風の音しか聞こえない原野に響き渡る草刈り機のエンジン音。この時期、造林地では幼木たちの生長を妨げる下草の刈り取り作業が行われています。

背丈ほどもある周囲の草本に対して、植えられている苗木の高さは五〇センチほど。これでは、すっぽりと覆われてしまつて、陽も当たらず、大きくなられません。

ですから、この作業はこれらが生長し、周囲の



空へ向かって伸びるカシワナラ

植生よりも高くなるまで毎年続けられます。標準的には八年程ですが、夏の短い道北地方では生長も遅く、長めになりがちです。真夏の炎天下に行われる作業ですが、地道な手入れを続けていくことによって、植えられた木々は大きく育って行きます。立派な森林になる日が来るのが待ち遠しいですね。

森林官どんぐり日記

森林事務所では森林教室等のイベント用に、森林官がミズナラの苗木を育てています。昨秋まきつけたドングリの「観察日記」です。



7月27日 真夏の日差しをたっぷり浴びて、こんなに大きく葉を広げています。

この工事箇所は、山崩れにより発生した土砂が溪流内に堆積し、また、流水による渓岸の浸食も見られることから、今後の豪雨等によりこれらが流出し下流域に被害を与える恐れがあり、その防止策が急務でした。



治山工事が進む布引沢

町内大成地区・遠別川上流の布引沢で、溪流の浸食と堆積している不安定土砂流出の防止を図るために「治山ダム」の新設工事が行われています。

完成後は、単なる危険防止策としてだけではなく、溪流内の土砂等の安定化により、周囲に新たな天然木の生長も期待できます。

フォレスター通信
大成・布引沢治山工事

>>> 地球を守るみんなの財産 国有林

森林は地球温暖化の主要な原因である二酸化炭素を森林は吸収・貯蔵することから地球温暖化防止への貢献が期待されています。

遠別の森から

留萌北部森林管理署 遠別・西遠別・東遠別森林事務所

北海道天塩郡遠別町北浜 91 番地 2 号

遠別町のみなさんに国有林の情報を毎月お届けします。1500部発行、町内全戸配布です。

>>> OUR FOREST

森林官どんぐり日記

森林事務所では森林教室等のイベント用に、森林官がミズナラの苗木を育てています。

昨秋まきつけたドングリの「観察日記」を紹介しますね。



6/9 芽が出てきました。



6/13 4cmまで伸びました。



6/15 葉が開いてきました。



6/20 葉が大きくなりました。

北の町にもやっと初夏の風がわたり始めた六月一日、遠別小学校一年生二十二人の皆さんと一緒に、広々とした校庭を歩きながら、色々な植物や虫の勉強をしました。



森林官の説明に興味津々な1年生

当日は「森林インストラクター」資格を持つ、東遠別森林事務所の松並森林官が、元気いっぱいみなさんが、元気のよい疑問にお答えしました。

新緑あふれる校庭で、色々な草木や花を見つけては森林官に「この花はなに?」「この虫の名前は?」というように沢山の質問を寄せたり、それらを興味深そうに観察しながら過ごしました。

森林官と一緒に楽しく勉強!
遠別小学校の一年生のみなさん



急傾斜地で施工中「植生ネット工」

町内清川地区を流れるウツナイ川支流「清川」の左岸において、自然災害によって山が崩れた場所を元の森林に回復させるための「治山工事」が進められています。

現地では急傾斜のため、命綱を付け、植生ネットを一枚一枚ていねいに張り付けていく作業が進行中です。

完成後には、このネットから草木が発芽、根をおろし、その生長とともにがっかりと急斜面を守り、将来は「緑の山」へ還ります。



フォレスター通信
清川で治山工事です



>>> 販売目的で山菜の採取をされるみなさんへ

国有林において販売目的（採取したものを山菜業者へ持ち込むことも含みます）で山菜を採取される場合は、森林管理署との林産物売買契約が必要となります。詳しくは下記までお問い合わせ下さい。

遠別の森から

留萌北部森林管理署 遠別・西遠別・東遠別森林事務所

北海道天塩郡遠別町北浜 91 番地 2 号

遠別町のみなさんに国有林の情報を毎月お届けします。1500部発行、町内全戸配布です。

>>> OUR FOREST

遠別の66%は国有林

遠別町の総面積の66%は、国民の森林「国有林」が占めています。

遠別の大切な森林を守り育てるために森林管理署では、これらに発揮させるべき機能によって、町内国有林を4つのタイプ等に分けて、それぞれの特性に応じたきめ細かな管理を行っています。

国土保全タイプ

土砂崩れや風害・雪害などを防止する森林。

16,871ha

水源かん養タイプ

生活や産業に欠かせない水資源を確保するための森林。

10,004ha

自然維持タイプ

自然環境を維持し、動物の生息・生育の場を確保する森林。

3,345ha

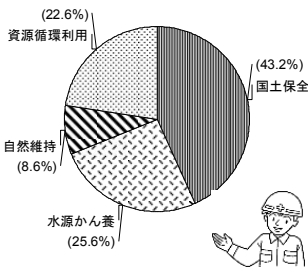
資源の循環利用タイプ

木材を、安定的かつ効率的に生産する森林。

8,843ha

合計 39,063ha

遠別国有林のタイプ別割合



森林の恵みをみんなで美味しく!

富士見ヶ丘公園開き『山菜まつり』

青空の広がった五月二九日、遠別町の春の恒例イベント・富士見ヶ丘公園開き「山菜まつり」が同実行委員会の主管で開催されました。

国有林の山菜をみなさんへ 森林事務所が採取協力

これに先立ち、遠別森林事務所では、今年も皆さんに森林の恵み「山菜」をお届けするため、国有林での採取協力を行い、業務の合間に一週間程かけ、山菜料理用のギョウジャニンニク、ユキザサ、コゴミ、タラの芽など十種類。また実行委の皆さんと、配布用のフキ、ウドの採取も行いました。

国有林の山菜をみなさんへ

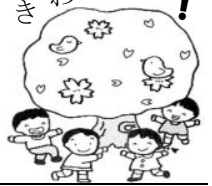
森林事務所が採取協力



皆さんに喜んでいただいた山菜配布

当日は、素材の味を生かした沢山の山菜料理が用意され、会場は、みなさんの美味しい笑顔でいっぱい。フキ、ウドの配布にも沢山の方々ならんで頂き大好評。楽しい春の一日になりました。

とか間に合わせることができました。



フォレスター通信 森林づくりの道標〜林道

この道はな〜に??

公道から分岐し、鍵付きゲートをくぐると、国有林を山奥へ分け入る細長く続く砂利道・「この道はいつたいどこへ続いているの?」。

これは森林を管理するためになくてはならない作業用道路「林道」です。

林道は森林の血管

森林をパトロールしたり、苗木や資材を運んだり、木材を運搬したり、森林づくりをすすめるための道。人間の体に例えると「血管」といったところでしょうか。



総延長130キロ

遠別の国有林には、全長二〇キロを超える長大路線「札士辺林道」をはじめ、全三十三路線、延長約百三十キロに及ぶ林道路網が張り巡らされ、これらを活用したきめ細かな森林管理を行なっています。

森林づくりが始まるよ!

冬の間は通行止だった各路線もやつと雪解け。今年も間もなく、苗木の植付、造林地の下草刈り、除伐等の保育、山地災害の復旧・治山ダム工事等が実施されます。林道を通して、進められる森林づくり。未来の遠別の森の姿が楽しみです。



>>> 販売目的で山菜の採取をされるみなさんへ

国有林において販売目的(採取したものを山菜業者へ持ち込むことも含みます)で山菜を採取される場合は、森林管理署との林産物買受契約が必要となります。詳しくは下記までお問い合わせ下さい。



遠別の森から

留萌北部森林管理署 遠別・西遠別・東遠別森林事務所

北海道天塩郡遠別町北浜 91 番地 2 号

遠別町のみなさんに国有林のいろいろな情報を毎月お届けします。

>>> our forest

≪ 遠別は森林の町 ≫

遠別町の森林面積は、約49000ヘクタール。これは町の面積の84%を占めています。そして、森林の76%は国民の森林「国有林」です。

≪ 森林事務所って？ ≫

昔の名前「営林署の担当区事務所」と言った方がなじみが深い方も多いかもしれませんね。

国有林を管理経営する林野庁の現地出先機関で「森林官」等の駐在所です。

全国に約1200カ所あり、遠別町内には、留萌北部森林管理署（天塩町）の下、遠別、西遠別、東遠別の3森林事務所があり、6名の職員が配置されています。

≪ 森林官の仕事？ ≫

「森林官」とは森林事務所の責任者です。それぞれの管轄する国有林において、森林づくりを進めるための各種調査、植林・伐採・林道等の管理事業等に係る監督や検査、森林パトロール、境界の管理、動植物の調査、森林教室のインストラクター、特別司法警察員としての「森林警察」業務など多岐にわたっています。

こんにちは！

遠別森林事務所です

みなさんこんにちは！
風薫るさわやかな季節となりましたがいかががお過ごしでしょうか？

つい最近まで白一色だった野山にや々と巡ってきた春。芽吹く草木、日々濃くなる緑、響き渡る鳥たちのさえずり。

そんな山々の心地よい空気を「森からのお便り」として遠別町の皆さんにお伝えできれば：と考え、「森林事務所」ではこの季節を契機に、「ニコミ」「遠別の森から」を毎月お届けしていくことになりました。

町内には国有林を管理する「遠別」、「西遠別」、「東遠別」の三つの森林

事務所があり、それぞれに森林官等が配置され、森林づくりの仕事を進めています。



山奥でのことでもあり皆さんには、普段なかなかお目に掛けることのできない森林官（フォレスター）らの姿や森林づくりのためのいろいろな事業の紹介なども併せてお伝えしていきたいと思っております。どうぞよろしくお願ひします。



フォレスター通信

残雪越えて森林調査

まだ残雪に覆われた山々では「森林調査」が進められています。

今回調査を行ったのは昭和四〇年代に植栽が行われ、約五〇〇年及ぶトドマツ人工林が広がる清川地区の国有林です。

これは、生長力旺盛な森林を育てるための「間伐」（間引きによる立木密度の調整）の実施に必要なデータ収集を行うためのもので、林内の生育状況や立木密度等を把握するために、植栽木の直径、樹高、本数、天然木の侵入状況などを調査しています。

植栽後約四〇年を経たトドマツは高さ十二メートルとなり、日本海からの強風が吹き付ける厳しい自然環境の中、たくましく生長しています。

人工衛星などからの森林写真は得られる昨今ですが、「森林」という生き物をあつかうには、やはり、実際に山に入り、くまなく歩き、よく見る、という作業が不可欠です。

長い年月をかけて育つ森林の姿を大切に見守りながら、今日も森林官は国有林を歩いています。



木の太さを輪尺で測ります



>>> 春は山火事危険期です！

大切な森林を恐ろしい山火事から守るために、みなさんのご協力をお願いします！

◇山火事危険期間 4月1日～6月30日 ◇強調期間 4月20日～5月31日

